

## Satellite 2006 Conference & Exhibit and SSPI Gala に参加して

特別編集顧問 北爪 進

### 概要

2006年2月6～9日 Washington Convention Center にて開催された Satellite 2006 Conference & Exhibit と SSPI Gala に参加する機会を得たのでその概要を報告する。今年 は Satellite Conference & Exhibit の 25 周年記念であり、主催者である Via Satellite より 現在 GEO に 243 機の衛星があり、内 46 機の通信衛星が存在する、昨年の通信衛星打ち上 げは 15 機であり、衛星の発注も 15 機あった、2006 年は 19 機の発注が期待されており、 低迷を続けた衛星通信分野に漸く上向き傾向が見え今後の発展が期待されるようになった と報告されたのには興味が集まった。

### Conference

Pri-day の 2 月 6 日には Satellite Workshop が開催され、2 月 7 日の初日には Opning Remark/Welcome Speech に引き続き行われた General Session, ” The Global Operator Roundtable: The New Face of The industry”では世界の主要衛星 Satellite Operator の CEO による Table Discussion が行われた。パネリストは Messer Romain Bausch, SES Global, Dan Goldberg, New Skies Satellite, David Mcglade, Intelsat, Bernard Schwartz, Loral Space & Communications, Andrew Sukawaty, Inmarsat, Joe Wright, PamAmSat の 6 人の CEO に Eutelsat が加わり討論が行われた。今年 は PamAmSat と Intelsat の大 型合併が予定されていること、個人所有株主 (Private Equity Ownership) の重要性が昨 年に引き続き議論された。又技術的にはやはり just one word performance であることが主 張されていた。



Fig-1 Operator CEO Roundtable

2月8日の” The Satellite Manufacturers Roundtable: Paying Attention to Detail”では Messer Ted Gavrillis, L.M., Patric DeWitt, Space System Loral, Antione Bouvier, EADS Astrium, Steve O’Neal, Boeing Satellite Systems, Dr ,Ali Atia(Mr .Kato vp が代行), Orvital Science International, John Keating COM DEV の7人の衛星製造業者の top が参加し討論が行われた、今回は昨年 1 年間における衛星の発注量が増加し今後この上向き傾向は続く見通しで明るい話題であった、又小型衛星の開発を中心に行っている Orbital 社の代表が参加し大型趣向にストップがかかり今後の商用衛星の開発に一石を投じた形となった、然し中国やインドの登場が益々価額競争を激化させる兆しが見え数年後にはこの Roundtable はますます混雑することであろうと主張していた。Boeing Satellite Systems の Steve O’Neal は商用衛星と軍用衛星の両方の組み合わせによるシナージ効果を主張していたのが現実的効果であることをおもわせた。 L.M 社の Mr. Ted Gavrillis のジャンクユーザ発言は自らの努力を棚上げして顧客への責任転嫁と見られ問題をのこした。



Fig-2 Satellite Manufacturer’s Roundtable

### Mr. Schwartz の引退

長年にわたり Space System Loral を始め Loral Group の長として衛星業界を引っ張ってきた Mr. Schwartz がグループの中心企業である Space System Loral が企業再生法適用 Chapter-11 を受けて以来、再生に努力し漸くこれより抜け出したのを機会に衛星業界より引退するとの表明があり引退スピーチが行われた。一つの時代が終わったとの感慨である。



Fig-3 Mr. Schwartz の引退スピーチ

## SSPI Gala と Executive of the Year Luncheon

XSTAR COO の Dr. Curtin が “Innovation for the idea of a commercial X Band communications satellite for the government”への貢献で受賞した、彼は世界最初の民間国際衛星通信会社となった Orion 社で技術担当責任者として活躍した人物であり、その後 Orion 社が Loral 社に買収され同時にそのグループに入り、米軍、NATO, Spain 軍などの X-Band 民間衛星通信運用会社である XSTAR の立ち上げに貢献している。又 SSPI Gala は 1200 人を超える参加者で盛大に挙行された。

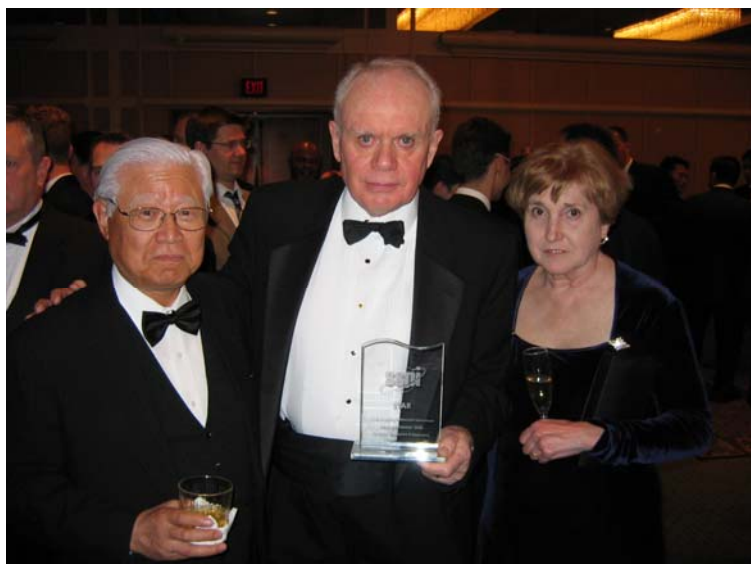


Fig-4 X-Band 通信衛星の商業化で表彰された XSTAR の Dr. Curtin 夫妻

同時に Satellite Executive of the Year として Arianespace CEO の Jean-Yves Le Gall が選ばれ受賞式と Satellite Executive of the Year Presentation が Boeing 社の主催する Award Luncheon 会場にて行われた。



Fig-5 Ariane CEO Jean-Yves Le Gall 受賞の喜び

## 展示会場

展示会場は今年も243社の出展で例年に勝る盛況であった。日本からも NEC マイクロ波管(Microwave Tube Ltd), NT-Space, 新日本無線(New Japan Radio Corp),の出展があった。主要衛星メーカーのほかに DVB-RCS, DVB-S2, IP-STAR, Wild Blue 対応の地上装置が中心であった。その中でも DVB-S2 の開発に一歩先んじた ECC の存在は多くの関心を集めていた。



Fig-6 展示風景



Fig-7 展示風景



Fig-8 展示風景 Hughes Network System の展示に Hughes の名前が懐かしい